第 2013-10 号

恵みと真理のニュース

2013 年 4 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　治してくださる神様、万事が益となるように共に働く主を賛美します。

〈前回に続いて〉

神様に切に祈りました。今まで神様を信じながらも信仰生活を頑張らなかったことを悔い改め、真に全能なる神様を求め治療の神様に祈りました。病院では癌ではないが慢性的の肺炎で抗癌治療を始め、治療しても完治になるのかは分からないと言われました。肺からほかのところに転移しないことでも幸いなことだと言われました。その時、上の子が小学校2年生でお母さんが必要な時期であったので途方にくれて涙だけ流しました。しかし、すぐ神様に頼り治療を受けることを決心して私の命と子供の事を主に委ねながら祈りました。私が治療を受けるあいだ主人が主日ことに私と子供を教会に行けるように連れて行き礼拝が終わるまで待たせて帰える苦労もしてくれました。
そうしながら、自然に主人も子供たちと一緒に礼拝を捧げ主を受け入れました。主人は私の病気のため祈りをしながら恵みを受け信仰も成長し主日の礼拝も良く守って熱心に祈る生活になりました。
2年間抗癌治療を受けながら辛くて大変な時間を過ごしました。酷い痛みが来ると息苦しくて救急室にいって酸素呼吸機をしました。病院では私の病気の理由すら分かりませんでした。
そんな状況でも主人が真実に変わる姿と聖霊から勇気を得て痛みを乗り越えました。肯定的考えむしろ神様に感謝するようになりました。私の病気を通して主人を救ってくださり祈ることが最優先に考えるように導いてくださる神様に感謝しました。祈るたびに治癒してくださる確信を持って信じ主に感謝祈りをしました。
抗癌治療が終わってからすぐ教会で奉仕をしたかったです。水曜礼拝の聖歌隊で初めて奉仕した日から本当に喜びで感激でした。まだ弱い体ですが私の病気を治してくださる神様に私を捧げて献身することがとても感謝しました。体力がなくて家に帰って来ると他の事はできなく横になっていました。主人と聖徒 は礼拝だけ捧げ奉仕することはやめるように言いました。それでも、奉仕する楽しみが大きくてみんなの配慮と愛の中で3年間聖歌隊で奉仕しました。その後は女性奉仕連合会に移して体力をあまり使わないところで奉仕を続けました。
すべての礼拝に参加し御言葉を聞いて祈りをし賛美しながら私の体が健康になりました。礼拝を捧げる喜びを与えて下さり、礼拝を通して神様に栄光を捧げ 真な平安と喜びを味わうようになりました。
どんな状況でも真実な神様に賛美と感謝を捧げるようになりました。今は痛みもなく入院する事もなく外出しても疲れません。
去年の冬、とても寒い日外で伝道しても風邪にひくこともなかったです。車酔いが酷くって30分もバスに乗れなくって主人の助けがないとどこにも行けなかったです。しかし今は聖徒と遠いところまで訪問に行っても問題ないほど健康になりました。私の心いっぱい神様に対する感謝と喜びが溢れました。家庭にも主の救いの恵みに感謝が絶えません。
神様を完全に信じて従順しながら生きるように、教会と聖徒に捧げる喜びを知るように導いてくださいました。また、家庭の福音化を成し遂げるため痛みも下さり、治療の恵みもくださったことを悟りました。
不信仰の魂を哀れむ心を与えてくださり福音を伝えなければなりませんでした。病気ある人を御言葉で慰め励ましながら祈りする信仰まで成長しました。今の私の願いは家族が主をもっと敬い、頼り愛しながら生きることです。今の職分の首区域長を忠誠して担うことです。生きていらっしゃる神様にすべての栄光を捧げもっと聖霊に満たされすべて感謝するように祈ります。

［信仰コラム］　神様の光栄を先に思いなさい

″主エホバがギデオンに言われたあなたと共におる民はあまり多いゆえに私は彼らの手にミデアン人をわたさないおそらくイスラエルは私にむかってみずから誇りのを私の手で自分を救ったのだ言うであろう…″(士師記 7:2,3)

ミデアン人, アマルレック人, 東方人々がすべて集まってヨダン川を渡ってイスルヘ谷間に陣を張ったが士師ギデオンが神様の命令を受けて軍人を募集してこれらと争って勝利を得ました. 聖書に記録されたこの事件の記録をよく見ればまことに驚きを禁ずることができません. 敵軍の数がいくら多いのかまるでいなご群れのようなのにギデオンの導いた軍人はわずか 300人だったからです. 士師ギデオンが神様から与えられて任務の遂行をする過程をよく見れば非常にありがたくて神霊な教訓を見つけるようになります. その中に核心は神様の光栄と係わっています.

第一、イスラエル子孫たちが侵略にあって疲弊するようになった原因は彼らが偶像を仕えるので神様の光栄とののしるをしたからです. イスラエル子孫たちはガナアン地に入って定着するようになると偶像たちを崇拝し始めました. だから神様が彼らを振り返えようと懲罰しました. 他の民族の侵略を受けて苦痛を経験するようにしました. ガナアン王のヤビンと軍隊長官シスラに　20年間踏み付けられることをあったイスラエル民は再び 7年の間ミデアンの侵略に受けました.

第二、神様がある無名した農夫を選んで士師で立てた事は神様の光栄を現わそうと思うのでした. 小麦をぶどう酒フレームで打作していたギデオンを神様が士師で選んでイスラエルを救われる召命をくださいました. ギデオンは ″神様よ私が何でイスラエルを救いますか? 見てごらんなさい. 私の家族はムナッセ支派の中で極めてよわいと私は私の父家で一番しがないです.″ しました. 神様がギデオンに再びおっしゃいました. ″私が必ずあなたと一緒にいるからあなたがミデアン人打つのを一人打つようにしよう.″ 神様が一緒になればたとえ無名した農夫でも大変ができるということを知らせてくださってこのことを通じて神様に栄光を捧げるようにしました.

第三、ギデオンは自分がおろそかに分かって出てから神様の光栄をふさがる事をしないように慎重にまた神様の意味を確認しました. ギデオンは打作庭先に羊毛一包みを置いて露が羊毛にだけあってほかの地が乾くようにしたことと, 反対に羊毛だけ露に濡れないでほかの地にはすべて露が下っているようにする表徴を見せてくれるように神様に懇請しました. 神様に二回も表徴を要求したことは不適なことのように思われることもできるがギデオンはこれを通じて神様のみ旨を確認しました. 神様のみ旨だと主張して軽率に仕事をしたのち後の処理ができなければ神様の光栄をふさがるようになることでギデオンは慎重にしたのです.

第四、神様がギデオンに 300人の軍人だけ連れて敵と争って勝利を得るようになさったことは民と勇士たちが神様だけに光栄を持たせるようにしようとするのです. ギデオンが敵と争うためにイスラエルの中で軍人を募集したら 32,000人が集まりました. ところで神様がその数があまりにも多いと言いました. ギデオンは神様が指示したとおりに最後に 300人の軍人たちだけ残るようにしました. 対敵するミデアンとその同盟国の軍人数は 135,000人でした. 神様が軍人の数字を減らした根本理由をこんなにおっしゃいました. ″あなたを従った民があまりにも　多い私が彼らの手にミデアン人を付けるのをしないのにこれはイスラエルが私をさからって自慢するのを私の手が私を救われたと言うかと″. イスラエルがミデアンを勝った後自慢のものを言えないようにするためなことであり神様の光栄を横取りすることができないようにためだからです.
神様はキリスト中ですべての良いことを私たちに借しまず下さるが神様に差し上げる光栄を横取りすればほったらかさないです. 皆さんはすべての事に神様の光栄を先に思ってください. すべての光栄を神様に差し上げてください.

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

象徴とたとえに形容された予言の言葉

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

聖書が何かを正確で完全に明らかにしてくれる事は聖書だけです．聖書に対する人々の主張と教えることが事実に符合するかを判断する基準も聖書にあります．聖書は神様が人生たちに与えられた極めて貴重で貴重な贈り物です．聖書には人に救いと幸せを得るようにする神様のメッセージが記録されています．聖書を‘神様の言葉’ ‘ヨホとの言葉’ ‘主の言葉’ または ‘予言の言葉’と指称しています．予言の言葉だと呼ばれる神様の言葉を聖書はさまざまな象徴とたとえとして形容しています．その象徴とたとえたちの意味が分かれば誰も予言の言葉を貴重に思うようになります．今日はその象徴とたとえたちをよく見ます．

第一、つるぎで象徴しました．

ヘブルで 4章 12節に記録されたのを“神様の言葉は生きていて力がありもろ刃のつるぎよりも鋭くて”と言いました．人がこの世の中に住むうちに避けることができない対敵のいるのに聖書は悪魔あるいはサタンだと明らかにしています． 悪魔は奸巧して強い存在で人から信仰，所望， 愛を盗むして平安と健康を 盗んで人の魂を地獄に入るようにします．悪魔は自分の正体を天使のように装ったり時には泣く獅子のように暴れ狂いながら脅威したりします．悪魔とけんかは霊的なけんかなので霊的な武将なしには決して勝利することができません．悪魔を対敵するためには神様の全身の甲紬を着なければなりません．

“すなわち 立って真理の帯びをあなたたちの腰にしめ正義の胸当てを胸に付け平和の福音の備えを足に靴をはき その上に信仰のたてを手に取りなさいそれを持って悪しき者の放つ火の矢を消す事ができるであろうまた救いのかぶとをかぶりみ霊の剣 すなわち神の言葉をとりなさい”（エペソ 6:14～17）しました．①真理の腰の帯 ② 義の胸背 ③ 平和の福音の予備した靴④ 信仰の盾 ⑤救いのかぶと防御のための装備です．‘神様の言葉’は攻撃のための装備です．聖霊の剣と言いました．悪魔は誘惑と逼迫と苦難そして異端の惑いという手段を使って攻撃します．しかし聖書に記録された神様の言葉，予言の言葉で対敵すれば充分に退け出して勝つようになります．

第二、光で象徴しました．

詩編に記録されるのを “主の言葉は私の足のともしびであり私の道にひかりです”（詩 119編 105節） しました． 光は危険を警告して安全になるように案内します．神様の警告なさる言葉の光を通じて審判をのぞいて救いを得るのです．光は暗い道を安全に行くことができるようにしてくれます．神様の言葉は人生のみちを照らす光です．神様の言葉の光に付いて行けばついに神様が予備なさった所に至るようになります．光は事物の実際の姿を現わします．
神様の言葉の光によってだけ万有の存在根源と理由と結局が分かります．
人がどこから来てどうして住んでどこに行くか人類歴史の結局はどうなるかどうかを分かります．

第三、種子でたとえしました．

イエス様は神の言葉を種でたとえしました．
“種をまき者がその種をまきに出て行ってまいて種は道ばたに落ち踏みつけられれて空の鳥たちが食べてしまったそしてほかの種は岩の上に落ちてから はえしたが水気がないので枯れてしまったほかの種はいばらの間に落ちたのでいばらも一緒に伸びて茂ってきてそれをふさいでしまったところがほかの種は良い地に落ちたので百倍の実を結んだ”（ルカ 8:5～8） しました．
神様の言葉は多くの種類の種です．罪をゆるし事と永生を実に結ぶようにする言葉の種があります．“もし私たちが私たちの罪を告白すれば神は真実で正しいかたであるから私たちの罪をゆるしすべての不義から私たちをきよめて下さるのです”（ヨハネ１の 1:9），
“神はそのひとり子をたまわったほどにこの世を愛して下さったそれはみ子イエスキリストを信じる者がひとりも滅びないで永遠のいのちを得るためである”（ヨハネ 3:16） おっしゃった言葉です．平安と胆大さを実結ぶようにする言葉の種があります．“恐ろしくないで私があなたと一緒にいるのだと驚かないで私はあなたの神になるためであると私があなたを屈強にさせようまことにあなたを助けてあげようまことに私の義のある右手であなたをつかみます ”（イザヤ 41:10） おっしゃった言葉です．慰労と所望を実結ぶようにする言葉の種があります．
“私たちが分かるが神を愛する者たちすなわちご計画に従って召された者等と共に働いてすべてのものが益となるようにしてくださる事を私たちは知っている”（ローマ書8:28） おっしゃった言葉です．治療と健康を実結ぶようにする言葉の種があります．“信仰による祈りは病んだ人を救いそして主はその人を立ちあがらせて下さる かつその人が罪を犯していたらそれもゆるされる”（ヤコブ 5:15） おっしゃった言葉です．富むと豊盛を実結ぶようにする言葉の種があります．
“私たち主イエスキリストの恩みを知っているすなわち主は富んでおられるにもあなたがたのために貧しくなられたことは彼の貧しさをよってあなたかたで 富む者になるためである”（コリント２の8:9） おっしゃった言葉です． このような神様の言葉をお聞きする種のように思って心の畑に植えなければなりません．これは善良で良い心で聞いてよくおさめて忍耐することを意味します．そんなにすればその言葉どおりなることを体験することができます．

第四、火に象徴しました．

神様がエレミヤ予言者に “私エホバが言う私の言葉が火のようではないか”（エレミヤ 23:29)とおっしゃいました．神様の言葉は罪悪になった考えを滅させてしまいます．神様の言葉は私たち心に感動の炎を起こします．

五番目、棒で象徴しました．

神様がエレミヤ予言者におっしゃるのを “私エホバが言う私の言葉が岩を打ちくだく鎚のようではないか”（エレミヤ 23:29） しました．頑悪した者には神様の言葉が審判の棒です．神様の言葉の棒になって神様の前に伏せて悔い改めるようになればその棒は恵みの棒になります．

六番目、鏡で象徴しました．

コリント１で 10章 11節に記録されるのを“私どもにあったこんな事が鏡になってまた末世に会った私たちの警告としてあってそれが書かれたのは世の終わりに臨んでいる私たちに対する訓戒のためである．鏡に映った良くない姿を事実ではないと否定する人はいないです．直ちに自分の姿を格好よく直します．このように私たちは神様の言葉の鏡を見て自分の誤れた姿を直さなければなりません．

七番目、金で象徴しました．

詩編に記録されるのを“主の口の法が私には幾千の金銀貨幣によりまさるのです， それゆえ私は金よりも純金よりもまさってあなたの戒めを愛します”（時 119:72,127） しました．神様の言葉の価値は 千千銀と万金とも比べることができません．神様の言葉を純金よりもっと慕う人は神様がくださる知恵を得て堅固な信仰を持つようになります．

八番目、水で象徴しました．

エペソの 5章 26節に記録されるのを “これはすぐ水で洗って言葉できれいに下さる聖なるようにして” しました．神様の言葉は洗って貞潔にさせる水のようです．神様の言葉を読んで聞く内に私たちの心霊が貞潔になります．詩編に記録されるのを “若い人がどうしてその行実をきれいになろうか主の言葉に従ってそれを守るよりほかにありません”（詩119:9） しました．

九番目、食べ物で象徴しました．

人は三つの種類の食べ物を食べなければなりません．肉身は多くの種類の食べ物を取らなければなりません．心は良質の知識を取らなければなりません．魂は神様の言葉を取らなければなりません． イエスキリストがおっしゃるのを“人がパンだけで暮らすのではないです神の口で出るすべての言葉で暮すはずだから”（マタイ 4:4） しました．神様の言葉を取るのにあって留意する点があります．偏食してはいけないです．旧約聖書と新約聖書を皆読まなければなりません．絶えずに取らなければなりません．何日は聖書を集中的にたくさん読んで，多くの日を読まないで過ごすよりも毎日一定量を 絶えずに読むようにした方が良いです．

十番目、蜂蜜で象徴しました．

詩編に記録されるのを “主の言葉の味がいかに私にどうしてそうつけるんです私の口に蜜よりも甘いのです”（時 119:103） しました．神様の言葉の味をつけるように感じることができる人は福があります．聖書は神様の言葉が記録された本です．神様が授けた予言が記録された本です．どんな人々は聖書は古い本なので時代におくれてその価値は消滅したと批評します．
今日は聖書が必要ではない位に進歩して発展したと主張したりします．これはまるで太陽があまり長い間映っていたから今日に必要ないと言うよりもっと愚かな事です．天地が変わっても神様の言葉の権能と価値は変わらないです．神様の言葉は私たちを最上の知識と知恵として暮すようにしてくれます．神様の言葉は私たちの生を真の所望と喜びを持って暮すようにしてくれます．
聖徒の皆さんは十種類の象徴とたとえに形容された神様の言葉，予言の言葉にしたがって恵みを享受してください．